2026.10.16
Vol.44

北公かわら版

にこ 北谷地区広報 にこ

見やすいカラー版
バックナンバーはこちらから→

発 行：北谷公民館　　住 所：新潟県見附市名木野町5320
電 話：0258-63-2346
メール： syougaigakusyuu@city.mitsuke.niigata.jp

10/24, 25は北公に集まれ！！

北谷地区ふれあい文化祭

開催迫る！

今年も力作が勢ぞろい

日頃の文化活動の成果を披露する場として、毎年恒例の「北谷地区ふれあい文化祭」の開催に向けて、現在準備を進めています。

当日は、地域の皆様が真心を込めて制作された作品の展示や、楽しい催し物を企画しております。ご家族、ご近所の皆様お誘い合わせの上、ぜひお気軽にご来場ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

※詳細は10/2に町内配布された「第29回北谷ふれあい文化祭」のチラシをご覧ください。

昨年の様子









10/25(日)10～12時
折り紙体験できるよ！

～北公 Cafe Time～

Vol.19





今年は雨多く雑草が茂り、中秋の名月は雲に隠れ、気づいたら長袖を着る季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
ふっと笑顔になれるようなお話を届けていきたいと思いますので、コーヒーでも飲みながらお読みくださいませ。

ひところ、台湾パイナップルは芯まで食べることができ話題になりました。我が家でも食べた後の芯を鉢植えし果たして育つかな、いや育てよと期待しつつ、いつのまにか4年物と5年物の二鉢がリビングで鎮座しております。

夏の間は外に出しますが、最低気温が10℃以下になる10月下旬から5月末までは室内に置きますので、大きくなるにつれて葉の先端がチクリと刺さり、室内に置くのも限界かなと考え、今年の6月上旬に庭に地植えしました。

東海地区に住む知人は、鉢植え4年目で結実したそうですが、雪国では温度の累積や日照時間の関係なのか花が付きません。　地植えで実らなかったら、今年は室内に戻さずそのままサヨナラの予定でした。

ところがなんと、9月の上旬（地植え後約3カ月）に葉の真ん中に何やらつぼみらしきものが、しかも二株同時に現れました。　自分の置かれた状況を察知したのか、鮮やかな紅色のつぼみが現れ、現在は実の形ができ始めました。　しかし食べられるようになるには、さらに3カ月必要で11月末までかかります。　そして、このままでは寒さで枯れてしまうため再度鉢植えに戻さないといけません。　恐らくパイナップルが育つほぼ北限ではなかろうかと思いますが、北谷産台湾パイナップルが収穫できるかいなや。





